



Chocolat 通信

2015年 3月号

春です！楽しく歌いましょう

K'mio talks

「無心」で演奏するために

先日 K-mio Chor の二回目の演奏会が終わりました。聴きに来てくださった皆さま、そしてお手伝いをしてくださった皆さま、本当にありがとうございました。本番の前日も最後の練習を行ったのですが、その最後に団員の皆さんに私はこんなことを言いました。「今までこんなに時間をとって練習してきました。もう身体に染み付いているはずだから、明日は是非『無心』で演奏してください」と。私はいつも本番の時は自分の中から湧き出てくるものに感覚を研ぎ澄ましています。そんな時に楽譜に夢中になっていたらそれに気づくことができません。そしてそういう感覚になった時は、必ずいい演奏ができる、と自負しています。そのために必要なことは、楽譜を暗譜するまで練習を重ねる、自我を捨てて周りとの協和に集中する、ということです。ショコラの市ヶ谷ルーテルで行った演奏会でも、暗譜で歌った後半の方が評判も良く、実際迫力がありました。

次の演奏会はまだ場所も日時も決まっていますが、その日に向けてできるだけのことをやってみましょう！

(Noboru Kamio)

佐々木 団長の 断腸の思い

高音発声と喉仏

ポイトレで高音発声の時に喉仏(喉頭)が上がらないようにと注意されることがありますね。なぜでしょうか？その理由を発声原理から簡単に説明してみたいと思います。高音を出すには声帯を伸ばす必要があります。その時に働く筋肉のひとつに「甲状舌骨筋」があり、そこが声帯を伸ばすときに収縮し自然と喉頭が上がります。しかし喉頭が上がると咽頭腔(いわゆる喉の奥)という共鳴する空間が潰れてしまい、声が平たくなったり苦しうに聞こえたりするようになります。

高音を発声する際に、声が平たく潰されないようにするには咽頭腔のスペースを確保しなければなりません。それが「喉を開く」という動作です。どうするかというと舌根(下の根元)を下げることにより連動して喉頭も下がります。言葉では簡単ですが、自然に上がろうとするものを下げようとするのですから簡単ではありませんね。その方法はポイトレで教えて頂いています。文字数が無くなったので今回はここまで。

(佐々木 晋)

相澤直人さんについて

その和音のおしゃれな響きや、今までの曲とはちょっと違った感性に「ぜんぶここに」の作曲者相澤直人という人とは一体どんな人？という疑問が湧いてきたので調べてみました。

1978年生まれ。東京都町田市出身。

4歳時よりピアノを始め、12歳で才能教育研究会の研究科三期全課程を修了。東京芸術大学作曲科、指揮科の両科にて8年間の研鑽を積み、その間、作曲を故岡戸睦郎、野田暉行、尾高惇忠の各氏に、指揮を松尾葉子、鈴木織衛の各氏に師事。在学中からオーケストラ、オペラ団体、合唱団等の指揮者として活躍する。

2007年より合唱指揮者・作曲家として独立し、ジャンルや年代を問わず様々な団体の指揮・指導を精力的に行なっている。(ウィキペディアより)



昨年とはある事情から海外旅行三昧の年でした。ウィーンから始まり 25 ヶ国訪問しました。その土地の文化に触れ、郷土料理を頂き、地元のお酒を飲み（郷土料理には地元のお酒が本当に合います、マリアージュですね）、おかげで旅行のたびに増えた体重はまだ戻っておりません。（笑）オーロラ、砂漠、滝、地上絵、山、動物、お花畑、鉄道、クルーズ、バレエ、宮殿・遺跡・教会・寺院・美術館・博物館巡り、etc. 楽しい思い出ばかりです。

歩くの大好き私のベスト3、また行きたい所です。第3位はトルコの Cappadocia、夕日に染まったローズバレーはとても綺麗で、あの奇岩の間をトレッキングしたい！第2位はニュージーランドのミルフォードサウンド、初めて見た土ボタルは青く輝き神秘的で、ミルフォード・トラックをウォークしたい!!! 第1位はペルーのマチュピチュ、言わずもがな天空都市は必見、その昔に思いを馳せインカ道を歩いて登って行きたい!!! ご参考まで。

♡♡♡ ショコラ・ブック・セレクト Chocolat book select ♡♡♡



「くちびるに歌を」著／中田永一（小学館）

舞台は長崎県五島列島の中学校。産休の先生に代わって合唱部の顧問になった美しい先生と中学生達のピュアな青春小説です。合唱コンクールの課題曲は「手紙」。15歳の子供達にもそれぞれ生きていくことへの悩みがあり、1つの合唱曲を仲間と歌って行く中で心を通わせていきます。歌うことはやっぱりいいなあと思わせる一冊です。映画化され話題になっていますね。映画館に行く時間がない方はぜひ本をお読みください。

「必ず役立つ合唱の本」

監修/清水敬一(ヤマハミュージックメディア)

「絶対！うまくなる合唱100のコツ」

著/田中信昭(ヤマハミュージックメディア)

合唱の練習に役立つ本を2冊。

どちらの本も発声の基礎からわかりやすく解説してあります。

「合唱の本」は、親しみやすい絵が数多く入っていて立ち方や口の開け方が具体的によくわかります。

「合唱100のコツ」は1問1答形式で、自分の知りたい所を選んで読むことができます。



☆通信担当より☆

桜が咲き始め、春本番ですね。暖かくなり、どこかへ行きたくなります。そこで、かねてから予告していた「わたしの旅」コーナーを開始しました。一番バッテリーは染谷さんです。練習の時に色々な国のお土産を持ってきてくださる染谷さん。どんな旅をしているか書いていただきました。

お勧めの本を紹介するコーナー「ショコラ・ブック・セレクト」も始めました。合唱に関する本、練習に役立つ本を紹介していきます。紹介したい本がある方は担当までお願いします。

また、作曲家相澤直人さんはホームページもあるので、興味のある方はパソコンで見てください。YouTubeにはご本人が伴奏しているピアノ伴奏版の「ぜんぶ」もあります。